

今治と丹下健三

しまなみ海道の愛媛県側の終点には今治市があります。海の眺めと地域のお城で人気の今治は、建築ファンには著名日本人建築家の丹下健三（1913～2005）の子供時代のふるさととして最もよく知られています。丹下は大阪生まれですが、その形成期を今治で過ごし、その後国際的に最も影響力の大きい20世紀の日本人建築家の一人となりました。

丹下が1949年に賞を受賞した広島平和記念公園の設計は世界中の建築家の注目を集め、丹下は海外で働く初の日本人建築家の一人となり、イタリア、アメリカ、フランス、サウジアラビア、ネパールなど世界中で建築や都市を設計しました。日本の丹下の最も有名な作品には東京都庁ビルや代々木体育館等があります。磯崎新、黒川紀章、槇文彦、谷口吉生等、数多くの有名建築家が丹下の建築スタジオにてそれぞれの技を学びました。

瀬戸内海地域は香川県庁舎等、数多くの丹下の建築を有しています。しかし丹下設計作品がこれほど多く密集しているのは今治だけです。今治市公会堂、今治市民会館、今治市庁舎の3つの公共建造物が市の中心に公共の広場を形成していますが、この3軒すべてが丹下による設計です。それだけでなく、愛媛信用金庫の今治支店と常盤支店も丹下の設計です。近代日本建築に興味があるすべての人にとって、今治は必ず訪れるべき場所です。